図書館・子育て支援分科会における議事録（概要）

日時：平成 28 年8月２９日（月）午後２時～午後４時
場所：高山村役場第３会議室

	意　見
①理念・役割 （現在の図書館の求められている役割）	図書館やそこで企画されるイベント（学習機会）等により、子どもからお年寄りまで幅広い世代の人達の交流起点となる役割。
②活用方法・事業展開（運営体制）	高山の伝統や文化に触れることができる企画の実施。 企画の運営にあたっては村民が参画できる仕組みが重要。 新しい施設でこれをやってみたいという住民と、それの実現をサポートする運営スタッフ、そして企画に参加する村民が三位一体となって施設を支えていくという意識が必要。 須坂、小布施等の図書館どうしの連携により、周辺の図書館で借りた本も高山村の図書館で返せるようなシステムがあれば、蔵書数５万冊まではいらないのではないか。 子どもは気に入った本を何回も読みたがる。図書館で読んだ本を買いたいと思った時に買えたらいい。 図鑑・全集は定期的に最新のものに更新しなければならず、高額になるため予算的に難しい。気軽に手に取れる親しみやすい本を揃えればどうか。 開館時間を延長してほしい。 またスタッフ（司書）を常時複数名配置し、来館者の図書等に関する相談（課題解決）にも対応できるよう運営体制の充実が必要。
③施設仕様 （機能・規模）	カフェスペースで本などを読みながら気軽に会話できるスペースがあれば、そこから人とのふれあい・つながりが生まれるのではないか。 子供が騒いでも気にならないよう利用スペースを分け、音が漏れない構造にする。また施設の利便性を向上させるために、授乳室（乳幼児のケアができるスペース）並びに子ども用のトイレを整備する。 飲食が可能で会話しても周囲に迷惑にならないような子どもが勉強できるスペースを設ける。 本の収蔵庫が必要。